

# 雨水出水想定区域図

## 1) 説明文

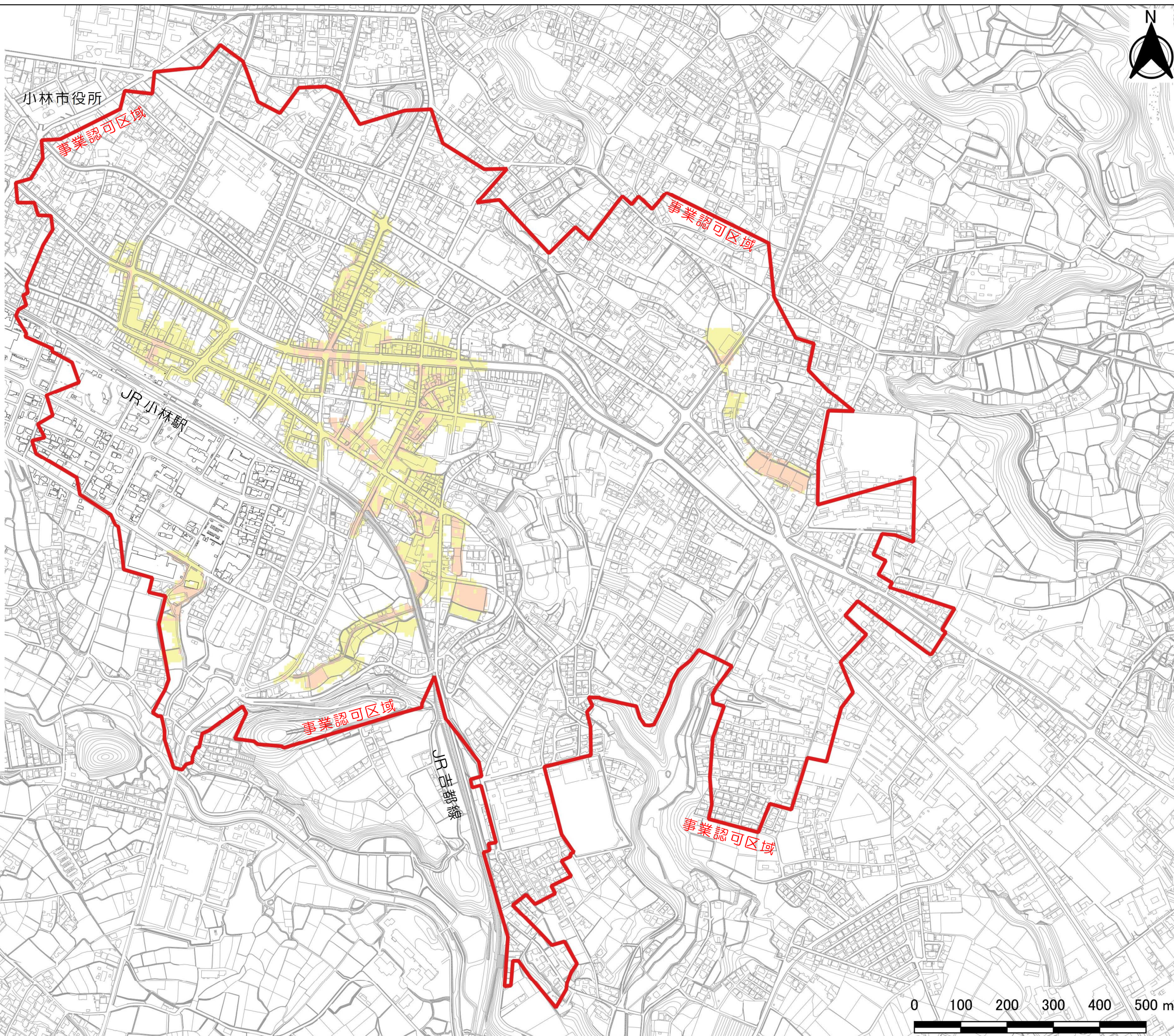
- ・この図は、近年の大雨であった令和5年8月の台風6号による豪雨の約1.5倍の雨が降った場合に浸水が想定される範囲やその深さを表したものです。この図で色がついていない場所は、計算上では浸水しない場所です。しかし、雨の降り方によってはこの図に示されていない場所でも浸水する可能性があり、浸水深も深くなる場合がありますので注意して下さい。
- ・この内水浸水想定区域等は、右図中の赤枠で囲まれた「下水道事業認可区域」を対象とし、下水道の整備状況等を勘案して、想定し得る最大規模の降雨（1時間降水量140mm）に伴う雨水出水により内水氾濫が発生した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより求めたものです。
- ・このシミュレーションの実施にあたっては、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、洪水（河川の破堤または越水）による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深・浸水継続時間が実際と異なる場合があります。
- ・このシミュレーションは、想定最大規模降雨による浸水を想定するため、排水先の河川の水位を計画上の最高水位に設定しています。
- ・水害時において避難や水防活動を開始するタイミングは、お住いの状況により異なることから、自らの判断で適切に行動してください。

## 2) 基本事項等

- ①作成主体：小林市
- ②指定年月日：令和8年7月27日
- ③告示番号：小林市告示第232号
- ④指定の根拠法令：水防法（昭和24年法律第193号）第14条第2項
- ⑤対象となる水位周知下水道：なし
- ⑥指定の前提となる降雨：なし  
〔(案)流域に令和5年8月豪雨（台風6号）から想定される最大規模の降雨（ピーク時の1時間に140mm）の降雨がある場合〕
- ⑦浸水想定手法：降雨損失・表面流出・管内水理・氾濫解析を一連で実施
- ⑧境界条件：辻ノ堂川の水位は、計画高水位とした
- ⑨その他計算条件等：

### 浸水深(m)

- ～0.01m
- ～0.50m
- 0.50m～3.00m
- 3.00m～5.00m
- 5.00m～10.00m
- 10.00m～20.00m



雨水出水想定区域図  
(浸水継続時間)



小林市役所

事業認可区域

事業認可区域

JR 昔部線

JR 小林駅

事業認可区域

JR 昔部線

事業認可区域

浸水継続時間

- ~24時間
- 12時間~24時間(1日間)
- 24時間~72時間(3日間)
- 72時間~168時間(1週間)
- 168時間~336時間(2週間)

0 100 200 300 400 500 m

